

藤田執行部初代代議員会開催

第65回代議員会・臨時総会

第65回代議員会が、7月12日（土）午後2時30分より神奈川歯科大学本館5階大会議室で開催された。

中塚副会長が開会の辞を述べ、斎藤理事が点呼を行い代議員総数95名中86名の出席を確認し、第65回代議員会は成立した。代議員会議長の選出に先立ち、仮議長に前議長であった瀧陽一郎（岡山）代議員が指名された。会場より議長に小林正美（東京）代議員、副議長に柘内明啓（岩手）代議員の推挙があり満場の拍手で承認された。

議長、副議長の挨拶後、議長一任を受け議事録署名人に金山美博（北海道）代議員、鈴木芳文（茨城）代議員が指名された。会長挨拶として藤田会長は、同窓会の未入会員の対策、組織率向上の為に臨時委員会を早々に設置するなど積極的に取り組んでおり、学校法人神奈川歯科大学理事会の会議録の抜粋、教授会の議事録が同窓会に開示されたことに対し、以前にもまして大学と同窓会の関係をより強固なものにしたいと述べた。また保存科の斎藤正寛助手が日立グループ再生医療の若手の中心として研究に参加しており、一般社会にも神奈川歯科大学の存在を知らしめた事に賛辞を送り、これからの活躍を期待したいと述べた。加えて同窓会として大学における研究活動に対し奨学金なども活用し何らかのバックアップを行いたいと言及し、近年特に必要が問われているIT関連の問題に対しては、臨時委員



会を設置して検討を行っている旨を述べた。

続いて学長代理として川瀬俊夫副学長が「社会状況下、教育面も国からかなり厳しい難問を押し付けられ、また経営面において母校も困難な時期に入っているが、力を合わせてこの難局に立ち向かっていく」との飯塚学長のメッセージを読み上げ、自らも大学院研究科を中心とするバイオベンチャーなど、研究面の現状を述べた。

報告に入り、物故会員に対し黙祷を捧げご冥福を祈った。会務報告を正木専務理事、同窓会役員・委員・福祉共済部幹事の報告を吉田常務理事が行い、新役員の紹介が行われた。代議員会運営委員会報告を両角委員長、学内報告を秋本常務理事が行った。学外報告は、押川副会長が行いその中で日本歯科医師会の代議員に神奈川歯科大学より橋本君（神奈川）、杉山君（神奈川）、熊沢君（福岡）押川（宮崎）の4名が就任したと述べた。

正木専務より、今井裕君（4回生）が独協医科大学口腔外科学講座の主任教授に4月より就任した報告があり、続いて今井君

より挨拶があった。

最後に表彰者表彰として藤澤國興君(神奈川)、西崎弘君(神奈川)に有功褒賞、高垣樹君(神奈川)、川越俊美君(大学)に表彰を行いそれぞれ表彰状と記念品が授与された。

またその他を、正木専務が九州地区連合各支部長の連盟での「お願い」の趣旨を説明し、加えて福岡県支部長山道君より補足説明があった。

長谷川常務からは、事業部としてIT化推進委員会の設立の報告がなされた。

議事に入り、第1号議案 平成14年度一般会計歳入・歳出決算が上程され、趣旨説明を蒲原常務、監査報告を奥主監事が行い賛成多数で承認可決された。

第2号議案 平成14年度事業基金会計歳入・歳出決算、第3号議案 平成14年度福祉共済部会計歳入・歳出決算、第4号議案 平成14年度同窓会年金会計歳入・歳出決算、第5号議案 平成14年度奨学金基金会計歳入・歳出決算、第6号議案 平成14年度前受金会計歳入・歳出決算、第7号議案 平成14年度職員退職金積立会計歳入・歳出決算、第8号議案 平成14年度ネットワーク推進事業会計歳入・歳出決算、第9号議案

平成14年度事業運営安定化資金会計歳入・歳出決算は一括上程され蒲原常務が趣旨説明を行った。採決に先立ち、二木(東京)代議員より出された第5号議案に関する事前質問(奨学金の多額な繰越金、および活用法)に対し、正木専務が規約改正も視野に入れ再検討すると述べた。続いて高垣(神奈川)代議員よりの同窓会資金の預金銀行である「りそな銀行」についての事前質問に対し、正木専務はとりあえずメインバンクはそのままとし、

経緯を見ていくと述べた。また議場より三隅(熊本)予備代議員の第8号議案のネットワーク推進事業についての質問に対し、蒲原常務、大館副会長が答弁を行った。その後、第2号議案から第9号議案は、賛成多数で承認可決された。第16号議案 監事選挙に関する件は、戸田選挙管理委員長が監事候補者の推薦候補に岩本君(長崎)の1名を報告し、賛成多数で承認可決された。第10号議案 代議員会運営委員の選出に関する件は、正木専務より説明がなされ、浅井(東京)代議員、二木(東京)代議員の両名より、第10号議案、第11号議案を一括上程し議長一任との発言があり、賛成多数で承認可決された。第12号議案 退会者承認に関する件は、正木専務が趣旨説明を行い、賛成多数で承認可決された。第13号議案 再入会者承認に関する件は、吉田常務が趣旨説明を行い、賛成多数で承認可決された。第14号議案 特別会員の承認に関する件は、吉田常務が趣旨説明を行い、賛成多数で承認可決された。第15号議案 資産目録に関する件は、斎藤理事が趣旨説明を行い、賛成多数で承認可決された。

引き続き事前質問に対する答弁が行われた。まず伊佐(神奈川)予備代議員からの1、県支部と本部の業務分担について 2、今後の本部と支部の連携についての質問に対し、「今後は本部と神奈川県支部の更なる連携強化が必要」と藤田会長が答弁を行った。星谷(神奈川)代議員からの1、同窓会の中に神奈川県歯のような「受診率アップ対策検討委員会」なるものを設置する考えはとの質問に、「今のところその考えはない」2、横浜研修センターの来院患者が少ない為、キャンペーンを展開する考えはとの質問に、「最近患者

の受診率が上がり、医員の増強も検討されている。また神奈川県の方も十分キャンペーンなり広報活動にご尽力して頂いている」3、統廃合により大学の人材が乏しくなっており同窓会が何か出来ることはとの質問に「大学側は非常にお悩みの点だと思いますが、明確なコメントは差し控える」4、大学理事、評議委員の選出方法についての質問に「大学の法人の規約による」と正木専務がそれぞれ答弁を行った。また星谷(神奈川)代議員の横浜研修センターに医局員が流出し、大学の医局員が不十分ではとの発言に対し、藤田会長は「教授陣は何パーセントか流れて戦力は落ちていると思うが、大学にも有能な人材がおり頑張っている、星谷代議員の問い掛けには非常に嬉しく思い、我々一丸となって頑張りたい」と述べた。続いて、高垣(神奈川)代議員より関連した発言があり「同窓生の同窓会に対しての要求ばかりを主張し、自らの同窓の為に何をすべきかを忘れていている会員が多い」と強い口調で語った。続いて鈴木(三重)代議員の他大学(歯学部)の同窓会費の徴収方法、納入状況、会員数及び非会員の増減等の資料については、正木専務が答弁し、小林議長より協議の中でと発言があり了承。次に寺谷(長崎)代議員から株式会社ティーエムエーの「歯の予防検診サービス」に関する質問があり、関連質問として山道(福岡)代議員、瀧(岡山)代議員、西崎(神奈川)代議員、伊佐(神奈川)予備代議員からそれぞれ発言があり、それに対し藤田会長、正木専務が答弁を行った。

休憩をはさみ、協議に入り議長が枋内副議長へ交替した。協議事項 1) 今後の入会率の向上について正木専務が趣旨説明、吉田常務が資料説明、藤田(昊)臨時委員

会委員長から現状報告と活発なご協議をとの発言があった。米田(富山)代議員より会費の徴収方法について、赤城(熊本)代議員より同窓子弟の入会率の低下について、外池(神奈川)代議員より会費は在学中に積立ておく、長岡(福島)予備代議員より同窓子弟、夫婦での会員に対する優遇する考えは、三隅(熊本)予備代議員より地方でのポストグラジュエイト、学術講演の開催、インターネットの活用、小松(北海道)代議員より魅力ある同窓会にはきめ細かな事業展開が必要、など多種多様な質問、意見が交わされ正木専務、長谷川常務、竹花理事、大館副会長がそれぞれ答弁を行い執行部として引き続き検討をすると述べた。閉会の辞を押川副会長が述べ、4時間に渡る会議を終了した。

代議員会終了後、平成15年度臨時総会が開催され、宮川常務の司会、笹原副会長の開会の辞で始まり、議長に山田格君(神奈川)、副議長に鈴木芳文君(茨城)、議事録署名人に岩淵通君(東京)、内藤良二君(東京)が選出された。藤田会長の挨拶、小林代議員議長より代議員会報告があり議事に入った。議事は第1号議案から第13号議案まで一括上程され、可決承認された。閉会の辞を佐々木副会長が述べ滞りなく総会は終了した。

